

平成 30 年度

雄物川水系渇水情報連絡会

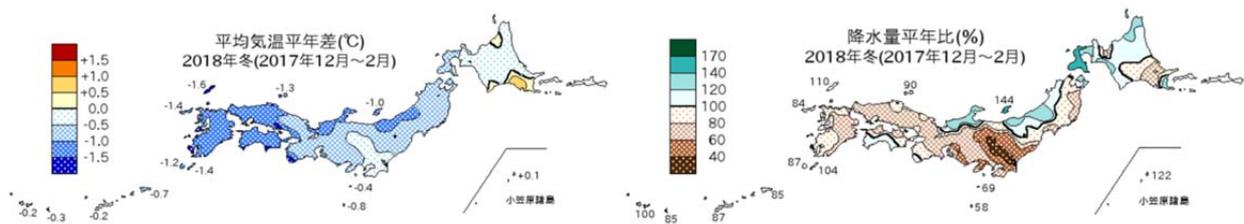
～ 気象状況について ～

平成 30 年 6 月 29 日
秋 田 地 方 気 象 台

1. 冬の天気概況(2017 年 12 月 ~ 2018 年 2 月)

【 全国のおまとめ 】

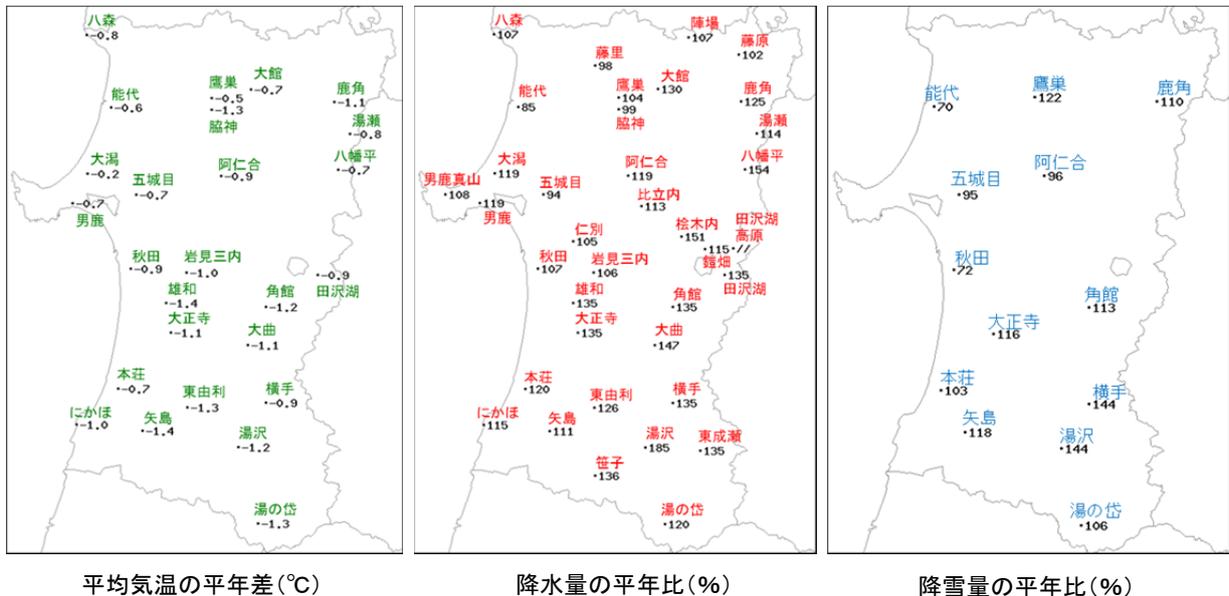
日本付近には、強い寒気が流れ込むことが多かったため、全国的に気温は低く、特に西日本では 32 年ぶりの寒い冬となった。また、冬型の気圧配置がしばしば強まったため、降雪量は西日本日本海側でかなり多く、東日本の日本海側では多かった。2 月 3 日から 8 日にかけては強い冬型の気圧配置が続き、上空に非常に強い寒気が流れ込み続けたため、北陸地方を中心に大雪となり、特に福井では記録的な大雪となった。



【 秋田県 】

期間を通じて、強い寒気が流れ込むことが多く、平均気温は低くなった。また、12 月と 1 月は、しばしば強い冬型の気圧配置となり、暴風雪や大雪となった所もあった。2 月に入ると、低気圧が短い周期で通ることが多く、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となったが、長続きはしなかった。気温が低く経過したため雪融けが進まず、県南部を中心に月最深積雪がかなり多い所もあった。

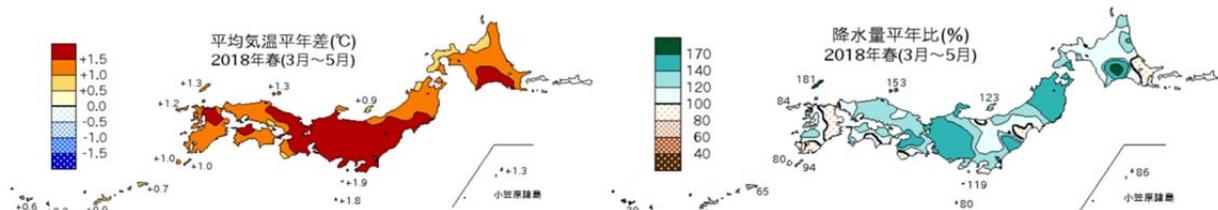
冬 2017 年 12 月 ~ 2018 年 2 月



2. 春の天気概況(2018 年 3 月 ~ 2018 年 5 月)

【 全国のまとめ 】

日本付近への寒気の南下が弱く、期間を通して暖かい空気に覆われやすかったため、全国的に気温の高い状態が概ね持続し、平均気温はかなり高くなった。また、日本付近は高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変化した。低気圧の通過時は、南から暖かく湿った空気が流れ込んだため、大雨になることが多く、北・東・西日本の降水量は多くなった。

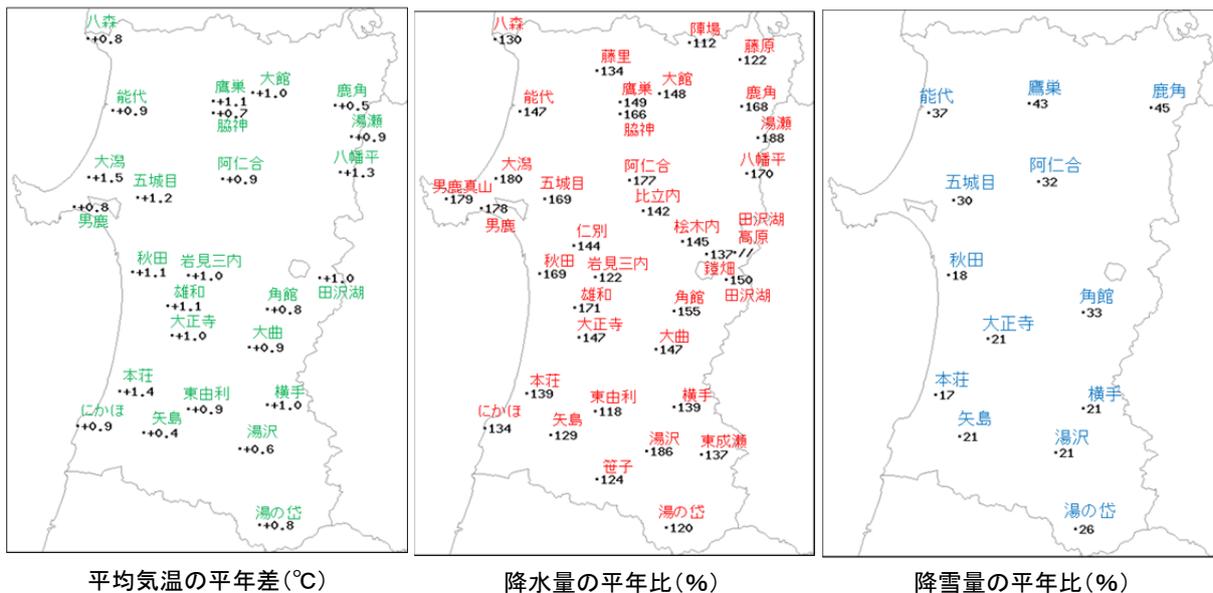


【 秋田県 】

この期間、高気圧と低気圧が交互に通過することが多く、天気は数日の周期で変化した。日本の東海上の高気圧の勢力が強かったことや、低気圧が日本の北を通ることが多かったことから、南から暖かい空気が流れ込みやすく、平均気温は高くなった。

5 月は、上空に寒気が流れ込んで大気の状態が不安定となり、大雨となった所が多かった。17 日から 19 日にかけては前線や低気圧の影響により大雨となり、特に 18 日の日降水量は県内 30 の観測点で 5 月として統計開始以降の 1 位を記録した。

春 2018 年 3 月 ~ 2018 年 5 月



3. 梅雨

平 年

梅雨入り：6月14日頃 梅雨明け：7月28日頃

平成 29 年

梅雨入り：7月1日頃

梅雨明け：特定しない

※梅雨明けを「特定しない」のは2009年以来8年ぶり

平成 30 年

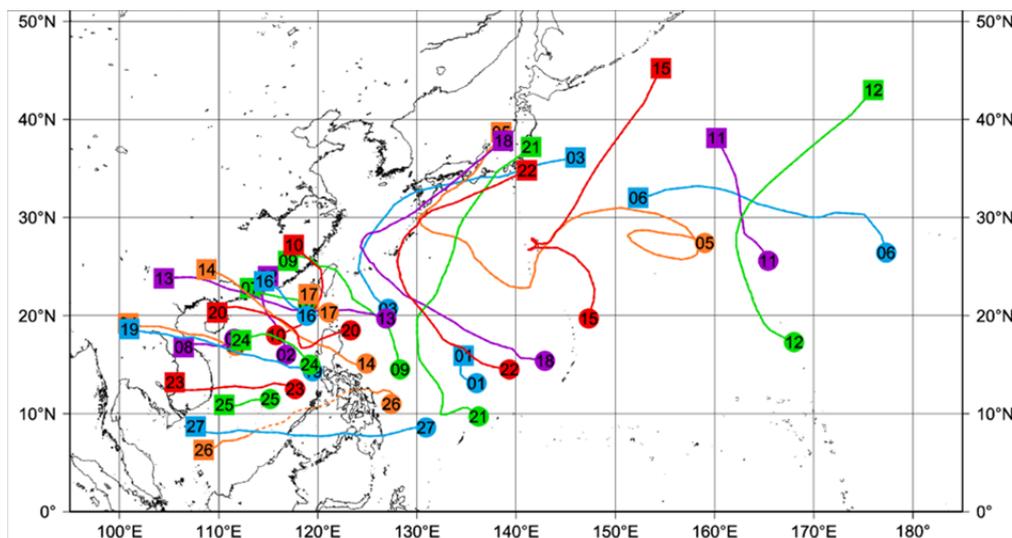
梅雨入り：6月11日頃

平年より3日早い 昨年より20日早い

4. 台 風

平成 29 年の台風発生数は 27 個。その内、台風第 21 号は、上陸時の台風の大きさのデータがある 1991 年以降、超大型で上陸した初めての台風となった。この台風第 21 号により西日本から東日本、東北地方の広い範囲で大雨となり、河川の氾濫や浸水害、土砂災害等が発生した。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
台風の発生数	2017年				1		1	8	5	4	3	3	2	27
	2016年							4	7	7	4	3	1	26
	平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
東北地方への接近数	2017年							1	1	1	1			4
	2016年								4					4
	平年値					0	0.1	0.3	0.8	0.9	0.4			2.6



平成 29 年(2017 年)の主な台風の経路図

経路の両端の●と■は台風の発生位置と消滅位置、数字は台風番号を現す。点線は熱帯低気圧の期間を示す。

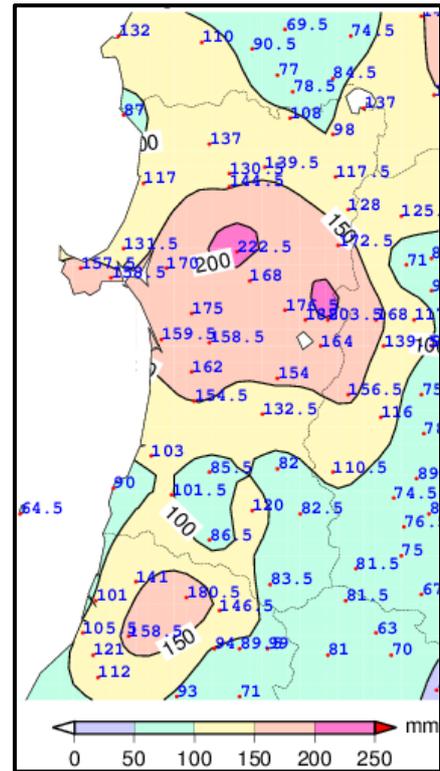
5. 平成 30 年 5 月 17 日から 19 日の低気圧及び停滞前線による大雨

前線が東北地方に停滞し、前線上の低気圧が 19 日未明にかけて東北北部を通過した。また、19 日は別の低気圧が秋田沖に停滞した。前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだため、東北地方では大気の状態が不安定となった。

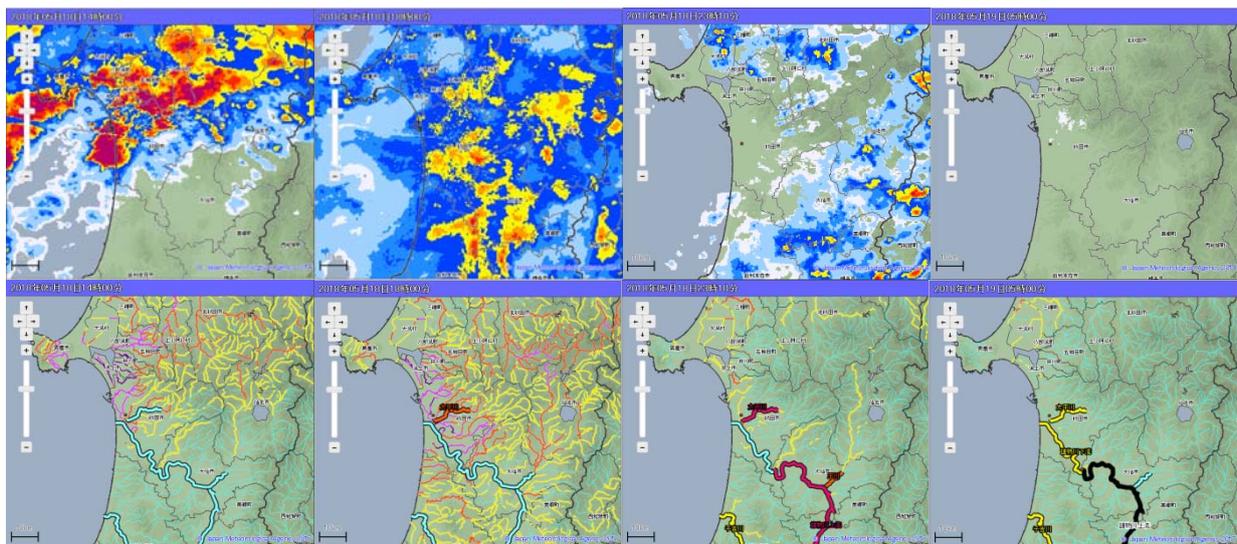
秋田県では、17 日夕方から 19 日にかけて断続的に雨が降り、北秋田市阿仁合で 48.5 ミリ(18 日 13 時 19 分までの 1 時間)、男鹿市男鹿真山で 46.0 ミリ(18 日 13 時 00 分までの 1 時間)の激しい雨を観測した。また、降り始め(17 日 18 時)から 19 日 16 時までの期間降水量は、北秋田市阿仁合 222.5 ミリ、仙北市田沢湖高原 203.5 ミリ、仙北市鎧畑 188.0 ミリ、仙北市桧木内 176.5 ミリ、秋田市仁別 175.0 ミリ、鹿角市八幡平 172.5 ミリ、五城目 170.0 ミリ、秋田 159.5 ミリの大雨となった。

この大雨により秋田県では、秋田市と大仙市で雄物川が氾濫して田畑が冠水し、秋田中央地域を中心に住家の床上、床下浸水、土砂崩れなどの被害が多数発生した。

昨年度から提供を開始している洪水警報の危険度分布を見ると、雨雲の移動に伴い雄物川の支流にあたる中小河川で、「非常に危険」を示す薄い紫と「極めて危険」を示す濃い紫が現れた後、雄物川の洪水予報が次第に氾濫危険から氾濫発生へとグレードが上がるのがわかる。



2018 年 5 月 17 日 18 時～19 日 16 時の
期間雨量



高解像度降水ナウキャスト(上段)と洪水警報の危険度分布(下段)

左から 18 日 14 時、18 日 18 時、18 日 23 時 10 分、19 日 05 時

気象庁 HP : 洪水警報の危険度分布 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>

6. 東北地方の1か月予報(2018年6月23日～7月22日までの天候の見通し)

東北地方 1か月予報 (6月23日から7月22日までの天候見通し)

平成30年6月21日
仙台管区气象台 発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温がかなり高くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率60%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率60%です。3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

【気温】東北地方	10	30	60
【降水量】東北地方	30	30	40
【日照時間】東北地方	40	30	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

1週目 東北地方	10	20	70
2週目 東北地方	10	30	60
3～4週目 東北地方	20	40	40

凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月 : 6月23日(土)～7月22日(日)
1週目 : 6月23日(土)～6月29日(金)
2週目 : 6月30日(土)～7月6日(金)
3～4週目 : 7月7日(土)～7月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週木曜日 14時30分 次回は6月28日
3か月予報:6月25日(月) 14時

7. 東北地方の3か月予報(2018年7月～9月までの天候見通し)

東北地方 3か月予報 (7月から9月までの天候見通し)

平成30年6月25日
仙台管区气象台 発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

7月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。

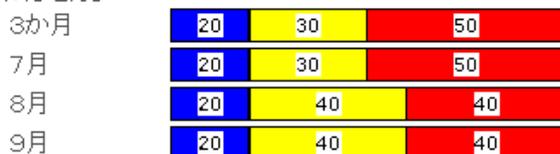
8月 東北日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

9月 天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量の各階級の確率(%)>

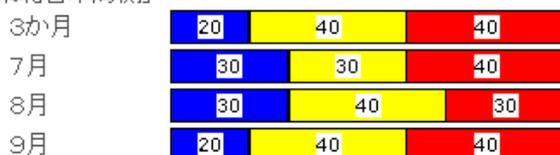
【気温】

[東北地方]

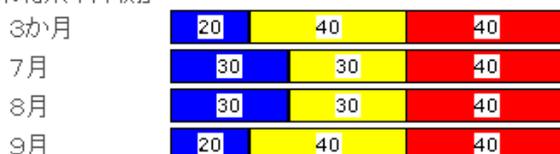


【降水量】

[東北日本海側]



[東北太平洋側]



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週木曜日 14時30分 次回は6月28日

3か月予報:7月25日(水) 14時

なお、7月の予報については、新しい資料による次回以降の1か月予報を適宜ご利用ください。